(A4)

記載例 (新築工事の場合)

建築物に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替)

分別解体等の計画等

使用する特定建 設資材の種類		✓コンクリート✓コンクリート及び鉄から成る建設資材✓アスファルト・コンクリート✓木材			
建築物に関する調査の結果		建築物の状況		築年数	
		周辺状況			間辺施設、近隣との 近接状況などを記載
建築物に関する 調査の結果及び 工事着手前に実 施する措置の内 容				建築物に関する調査の結果 工事着手前に実施する措置の内容	【 機械設置場所及び
		作業場所		作業場所 🛂十分 🗆不十分	作業スペースの状況 対処方法を記載
		搬出経路		障害物 ☑ 有 (未舗装) □無 前面道路の幅員 約 1 2 m 通学路 ☑ 有 □無 <u>敷鉄板設置により工事用道路の確保</u> 交通整理員の常駐	g出経路の状況及び g出で支障となる §項、対処方法を記載
		石 綿 (アスベスト) (修繕・模 様替工事 のみ)	□有	て 資 (例: 煙突の石綿含有耐火被覆材)	定建設資材に付着いない。 では、個人のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
		その他	□有		な時に発生する 「害物質(石綿以外)
		(石綿 除く)	☑無	\neg	7 7 7 7 1 3 1 3 3 4 5 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7
工程 ①造成等 ②基礎・基礎ぐい 程 ②上部構造部分・外の作業 内容 ⑤建築設備・内装等		一礎ぐい部分・外装		作業内容 造成等の工事 基礎・基礎ぐいの工事 上部構造部分・外装の工事 ✓有□無 屋根の工事 ✓有□無 建築設備・内装等の工事 ✓有□無	
	⑥その他 (仮設			その他の工事 ▽ 有 □無 その他の 括弧内に	工事がある場合には 具体的な工程を記載
廃棄物発生見込量	ごとの量の	子材廃棄物の)見込み並び けが使用され	に特	種類 量の見込み 使用する部分又は発生が 見込まれる部分 (注) ✓コンクリート塊 20 トン □① ✓② ✓③ ✓④ ✓⑤ □⑥	使用又は発生
	定建設資材が使用される建築物の部分及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる建築物の部分 種類を選択し、廃棄物の発生		設資まれ	☑アスファルト・コンクリート塊 2 トン ☑① □② □③ □④ □⑤ ☑⑥ □⑥ □⑥ □① □② □③ ☑④ □◎ □◎ ☑④ □◎ □◎ □◎ □◎ □◎ □◎ □◎ □◎ □◎ □◎ □◎ □◎ □◎	は が部から選択し、 チェック
	<mark>見込み量</mark> (注) ①造成	を整数で記載		*	
備考					